



平成9年〈1997〉6月号 No.706

- 今月のこよみ
- 環境月間 1日～30日
 - 土砂災害防止月間 1日～30日
 - 不正改造車排除運動実施月間 1日～30日
 - 人権擁護委員の日 1日
 - 測量の日 3日
 - 歯の衛生週間 4日～10日

発行 和歌山県知事公室 広報広聴課

県民の友

主な記事

- 2～3面 アウトドアスポーツフェア／挙啓 県民のみなさまへ／美里の自然を愛する会から／情報化新時代①
4～5面 南紀熊野体験博ニュース／同和連載／学校間連携授業／夏休み特集
6～7面 お知らせ
8面 わかやま北南NEWS／和歌山ビッグホエールニュース／わかやま魅力再発見あれこれ⑭

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎0734 (32) 4111

県内の自然愛護団体が、アウトドアマナーの向上を願い、西口
知事にあてたメッセージを三面に掲載しています。

今年度は、まず、六月から本県で開催する「全国アウトドアスポーツフェア」をはじめ、様々な機会を通じ、「ゴミは持ち帰る」、「草木の乱獲をやめる」というアウトドアの基本マナーについて、皆さんに深く御理解いただけるよう、参加型の行事を中心には多く計画しています。



しかし、人間がマナーを守らなければ、かけがえのない自然が傷つき、その機能が損なわれてしまいます。私達が自然からの恵みを受け続けるためには、アウトドアでのマナーを学ぶと同時に、自然の重要さを理解していく活動を進めていかなければなりません。そういう活動を通じて、素晴らしい自然と出会える和歌山を県内外へアピールすることをめざします。

ネイチャーフレンドシップ運動

県民の皆さんへ、そして全国へのメッセージ ネイチャーフレンドシップ運動

自然との友情を取り戻したい・・・だから和歌山





第2回 全国アウトドアスポーツフェア in 和歌山

アウトドアスポーツを楽しみたいとお考えの初心者の方のために、
和歌山県の豊かな自然環境を十分生かした体験型イベント「全国アウトドアスポーツフェア」を開催します。

アウトドアスポーツの魅力に触れるとともに、参加者同士の交流を深めてください。



7月25~27日

(内容抜粋)

メイン会場 和歌山マリーナシティ

シンポジウム

テーマ「アウトドアスポーツと自然」
パネリスト

川村協平氏 (山梨大教授)
土方幹夫氏 (駿河台大教授)
星野敏男氏 (明治大教授)
田中律子氏 (女優) (写真)



ミニ体験教室

アウトドアスポーツを体験し、競技方法や楽しさを
体感し、スポーツの魅力に触れてください。

種目によっては事前に申し込みが必要です。くわしくは実行委員会へ(会場は3面で紹介しています)

アウトドアスポーツイベント

①ビーチバレーボール②フィッシング大会③マウンテンバイク耐久レース④オンラインホッケーを開催します。(会場は3面で紹介しています)

アウトドアスポーツ講演会

演題「未知への航海」
講師 ヨットマン 堀江謙一氏

天神崎シースクール、ヨット、フィッシング教室参加者による体験発表

くわしくは第2回アウトドアスポーツフェア実行委員会 ☎(0734) 27-0310へお問い合わせください。

●ヨット

期日/6月28・29日
場所/和歌山マリーナシティ ディンギーハウス
問合せ先/星林高校内
県ヨット連盟事務局
☎(0734) 44-4181



●フィッシング

期日/7月21・22日
場所/つり公園シモツピアーランド
対象/小中高生とその保護者・一般初心者(1日100人×2日) 200人
申込締切日/6月16日
参加費・申込方法は下津町役場産業課
☎(0734) 92-1212へ



●スクーバダイビング

期日/8月5・11・20日
場所/白崎オーシャンパーク
対象/18歳以上的一般初心者(1日40人×3日) 120人
申込締切日/7月4日
参加費・申込方法は由良町教育委員会社会教育課
☎(0738) 65-1800へ



●天神崎シースクール

期日/7月21・22日
場所/南紀スポーツセンターヨットハーバーなど
問合せ先/田辺市教育委員会生涯体育課
☎(0739) 26-4907



●キャンプ&イカダ

期日/8月9・10日(1泊2日)
場所/古座川町川口明神橋付近
対象/小中高生、一般初心者
100人(※小中学生は保護者同伴)
申込締切日/7月9日
参加費・申込方法は古座川町教育委員会
☎(07357) 2-3344へ



●ファミリーキャンプ

期日/7月26~28日(2泊3日)
場所/県立潮岬青年の家、串本海中公園など
対象/小中学生とその保護者・一般初心者200人
申込締切日/6月20日
参加費・申込方法は串本町公民館内ファミリーキャンプ
串本町実行委員会☎(07356) 2-0006へ



●カヌー&滝めぐり

期日/8月23・24日(1泊2日)
場所/熊野川町赤木川ほか
対象/小学5年生以上及びその保護者
40人(※小中学生は保護者同伴)
申込締切日/7月31日
参加費・申込方法はB&G財団熊野川
海洋センター☎(07354) 4-0688へ



●熊野あそび塾

期日/8月1~3日(2泊3日)
場所/渡瀬みどりの広場ほか
対象/小学5・6年生、中学生60人
申込締切日/7月11日
参加費・申込方法は本宮町教育委員会
☎(07354) 2-0299へ



●オートキャンプ

期日/8月2~4日(2泊3日)
場所/金剛緑地広場キャンプ場
対象/小中高生及びその保護者120人
(※小中学生は保護者同伴)
申込締切日/7月10日
参加費・申込方法は花園村教育委員会
内オートキャンプ実行委員会☎(0737) 26-0321へ



ジャパンエキスポ 南紀熊野体験博 リゾートピアわかやま'99

平成11年4月下旬から9月下旬までの約160日間、「ジャパンエキスポ 南紀熊野体験博 リゾートピアわかやま'99」を開催し、南紀熊野地域を舞台に和歌山県を県内外にアピールします。

■ テーマは、「ここにリゾート実感

「世界リゾート博」によって、和歌山県が優れたりゾートエリアであることは十分に認識されました。

「南紀熊野体験博」では、和歌山県の魅力をさらに高め、県内各地での「ここにリゾート」体験を通じてその素晴らしさを感じていただきます。

■ オープンエリア型で開催

「南紀熊野体験博」は、南紀熊野地域のみならず和歌山県全域、さらに奈良県、三重県をも関連広域地域とこれらたオープンエリアを舞台に、テーマイベントや地域の人々が手作りで行う地域密着型のイベントなど様々な規模のイベントを開催します。

■ テーマイベント「十万人の熊野語」

今回の博覧会のテーマイベントのひとつとして、いにしえの蟻の熊野語を現代に再現する「十万人の熊野語」を実施します。

■ 地域ネットワークイベント

県民が主体となつたイベントも実施します。具体的には、南紀熊野の自然環境そのものが会場という考え方のもと、博覧会開催期間中に南紀熊野地域で行われるすべての既存イベントのほか、各自治体や企業・地域・住民が主体となり、多様な規模、多彩な内容の新規イベントを統一的に展開します。

■ シンボルパーク

「緑と風のステージ」「命と海のステージ」

田辺新庄公園、那智勝浦海岸周辺にシンボルパークを設置し、「緑と風のステージ」「命と海のステージ」として、二つのシンボルパークの立地特性を活かし、主会場にふさわしいイベントを開催するほか、情報発信基地として博覧会全体の情報提供する会場とします。

「南紀熊野体験博」は、県民の皆さん主導のイベント展開を中心と考えています。県民の皆さんとの積極的な参加で、博覧会の盛り上げをよろしくお願いします。

■ 短期滞在型のリゾート体験

南紀熊野地域の「リゾート体験エリア」において短期滞在型のリゾート体験を実現します。各エリアの特性を活かした様々な体験プログラムを作成し、訪れる方が自分にあつた楽しみができるものとします。

伊都地方で学校間連携授業はじまる



学校間連携は、履修したい教科・科目が在学しない場合、他校の教員や施設・設備を活用して履修単位を取得できる制度です。県では、生徒や教職員間の交流を深めることにより、開かれた学校づくりをめざしています。今まで和歌山市、田辺・西牟婁地方において実施してきましたが、今年度新たに橋本高校、紀北工業高校、伊都高校、紀北農芸高校、紀の川高校、笠田高校で学校間連携が行われます。特に、紀の川高校の通信制生徒を対象にした連携は全国でも初めてです。

学校間連携は豊かな人づくりのため、教育の重要な柱となっています。

■ シンボル空間 「癒しと山のステージ」

熊野古道及びその周辺地域をシンボル空間「癒しと山のステージ」として、あらゆるイベントを通じ、熊野の歴史と文化を様々な形で体験できるようにします。また、熊野を現代に生きる人々の心と体の癒しの空間と位置づけ、今回の博覧会を象徴する場とします。

同和連載

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。子供たちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。私たち大人への呼びかけです。(平成八年度入選作品)

友だちつていいな

御坊市 御坊小学校三年 玉置 理紗

わたしは、一学期のはじめに、いじめがありました。自分の前で、ないしょ話をされたり、わざと、わたしの方に向いていたら、泣いてしまった。はじめは、んだり、わらわれたりしました。はじめは、気のせいかなと思ってあまり気にしませんでした。でも、しつこく何回もされたので、だんだんいやな気持ちになつてきました。わたしは、いじめられている時、かなしく泣いてしまう時もありました。話しかけてもむしゃされました。話かけにいつたら、何度もこたえてくれません。何回も言いつぶつたら、「何よ」とか、言われました。とてもいやな気持ちになりました。いじめられた時、学校へ行きたくないと思う日もありました。でも、「そんなのでくじけてはいけない」と、母にはげました。でも、たえられなくなつて、つぎの日、先生に話しました。わたしは、泣いてしまいましたが、むねが、スースとしたしました。でも、こんどは、わたしは、友だといつしょに、もう一人の友だちをいじめました。その友だちは、話をしなくなりました。いけないことにしているあと、つらく、毎日が楽しくありませんでした。わたしは、むずすることが、もういやになつたので、「やめる」と言いました。けれど、やめると、「ぜつこう」と言われたので、ようやめませんでした。

どうして三人でなかよくあそべないのかなあと、なやんでしました。わたしは、前からその友だちとよく話しをしていたのです。二人で話をしていたら、「あの子と、もう話せん」といって、「言われました。とてもつらい思いをしました。そのことに気づいた先生は、わたしが三人をよんでも、わけをきいてくれました。夏休みがすんで、二学期になると、いじめはなくなりました。「ごめんね。」「もうせんこな」と、わたしたちは、やくそくの指切りをしてなかおりしました。なかなかおりをしたわたしたちは、楽しく毎日をすごしています。わたしは、友だちが、多くなり学校へ来るのが、楽しくなりました。今、ゴムとびが人気があり、クラスの女の子でなかよくあそんでいます。なかまはそれや、一人ぼっちの子がないよう、みんなで、さそいあつっています。トラブルがおきると、話し合いをしてなかおりしています。わたしは、だれとでもなかよくあそべたらいいなあと、つくづく思いました。それに、自分がされていやなことは、人にしてはいけないと強くはんせいしました。これからも、休けい時間には、よくあそんだり、おしゃべりをしたりして、進んで友だちを作ろうと思います。いやな思いは、くり返したくないと思いました。

**鮮やかな緑の芝生にはすむ白球
紀三井寺公園野球場が
生まれ変わりました**

昨年9月から改修工事を行っていた紀三井寺公園野球場が、7月1日に再オープンします。外野の芝生を張り替えたほか、バックネットの新装や雨天練習場・ダッグアウトの改修等を行いました。

再オープンを記念して、6月28日(土)午後1時から、今春の選抜高校野球大会で、全国に分校チームを巻き起こした日高高校中津分校が、滋賀県の強豪八幡商業高校を迎えて試合を行います。(入場無料)。

(和歌山市)

催し

県植物公園緑花センター ☎ (0736) 62-4029

趣味の教室

- 「ボタニカルアート(花の精密画)の描き方」
- 花のスケッチ 6月22日
- 作品の仕上げ 6月29日
- 「草木染め教室」 7月6日

○薬草教室

- 「民間療法と薬草の正しい使い方」 7月13日

県民文化会館 ☎ (0734) 36-1331

第22回歌舞伎鑑賞教室

- 6月18日 開演 午前11時、午後2時
- 入場料 一般(2階席) 1,000円

第25回 和歌山県新人演奏会

- 7月13日 開演 午後1時 入場料500円

県立自然博物館 ☎ (0734) 83-1777

パネル展「日本のまわりはクジラの海」

6月22日まで好評開催中

お気軽にどうぞ

交通事故相談

[常設相談] 月～金曜日(東牟婁県事務所は水曜日を除く) 場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

[弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 每月第1、3月曜日 受付 午後1～2時 ●東牟婁県事務所 每月第1、3金曜日 受付 午前9時～正午

[巡回相談] ●伊都郡事務所 6月25日 ●西牟婁郡事務所 7月9日 受付 午後3時まで

県民相談

[常設相談] 月～金曜日 場所 県庁県民相談室、各県事務所

[弁護士による相談] 毎月第2、4金曜日 受付 午前9～11時 場所 県庁県民相談室

[移動相談] ●串本町役場別館 6月19日 ●高野口町伏原第二会館 6月30日 ●本宮町山村開発センター 7月3日 受付 午後1～3時

*くわしくは ☎ (0734) 41-2359(交通事故相談)、
☎ (0734) 41-2356(県民相談)へ



和歌山マリーナシティ
セイリングアカデミー
開校記念ヨットレースにて

研究の合間に気分転換 海南インテリジェントパーク隣に 「いきいき広場」完成

本県産業の高度化を担う拠点として、海南市中央部の丘陵地に広がる「海南インテリジェントパーク」には、大学や企業の研究・開発部門の立地が進んでいます。

海南市は同パーク北側に、緑と水辺の豊かな自然に包まれた環境を活かして、「いきいき広場」と「遊歩道」を整備しました。広場では、健康づくりのための健康遊具やミニサッカー、ストリートバスケットボールなどが楽しめ、池に沿って続く遊歩道には、あずまや、ネット登り、展望台などが設けられています。

昼の休み時間などには、近所の親子連れに交じって、遊歩道を散歩する研究者の姿も見受けられます。



主要県道上富田すさみ線のすさみ町大谷地内の延長1.1キロメートルの区間が開通し、すさみ町小河内間から県道すさみ古座線を経て古座川町境までの約12.1キロメートルの連続した区間がほぼ完成しました。
(すさみ町)



生活道路がますます快適に 主要県道上富田すさみ線大谷バイパス

和歌山ビッグホエール ニュース

熱気ムンムン！ オープニングイベント 総合結団式開催！



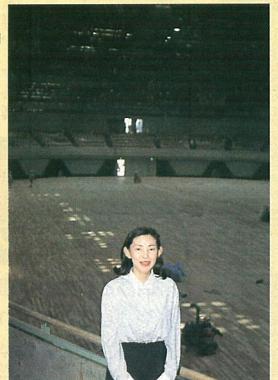
オープニングイベントの

成功に向け、参加者同士の結束を強めるため、スタッフ全員による総合結団式が県民文化会館で行われました。

西口知事の激励のあと、総合演出を務める蜷川幸雄さんと主演男優の赤坂晃さんがオープニングに向けての抱負を述べ、出演者が自己紹介や決意表明を行い、会場内は早くも本番さながらの熱気にあふれていました。

オープンに向け準備着々！

和歌山ビッグホエールの運営スタッフがビッグホエールに着任し、施設の総合点検や機器器具の搬入等、オープンに向けた最終チェックを開始しました。ビッグホエールの使用申し込みや施設内容については、和歌山ビッグホエール ☎ (0734) 33-0035へお問い合わせください。



私がホールの受付を担当させていただきます。私たちスタッフ一同、皆さまの方のご利用ご来場を心よりお待ちしています。

あなたのお気に入りの
「和歌山自慢」をお寄せください。
「わかやま魅力再発見」係へお送りください。



大塔村の百間山
日置川の源流、百間山渓谷は訪れる人を飽きさせません。巨岩、奇岩に大小の滝、素晴らしい自然美が約百メートル毎に現れ、谷間を吹き渡る風は、さわやかそのもの。
そして、健脚の人であれば百間山の頂上に立つことをお薦めします。標高999メートルの山頂からは360度の大パノラマ、天気の良い日には田辺湾まで見通せ、視界はまさに千メートル級。ただし、登山道はかなり急なので、あせらず、ゆっくりと歩を進めましょう。特に下りは、「転ぶな、怒るな、風邪ひくな」と念じながら。

和歌山市の山本政子さんからお寄せいただいた魅力をご案内します。

魅力・再発見